

後期研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	<b>専門医研修連携施設(小児・新生児疾患全般:三重県立総合医療センター, 伊勢赤十字病院など)</b> 日本小児科学会学術集会などへの参加、外来研修1回/週程度、救急当直3~4回/月程度。 目標経験症例100例以上。小児期の主な急性期疾患を重点に研修。高次救急救命センターや地域連携施設での研修も希望により可能。											
	<b>専門医研修連携施設(未熟児新生児研修・三重中央医療センターなど)</b>						<b>専門医研修連携施設(慢性疾患を含む小児疾患研修・三重病院など)</b>					
2年目	<b>専門医研修連携施設(慢性疾患を含む小児疾患研修・三重病院など)</b>						<b>専門医研修連携施設(未熟児新生児研修・三重中央医療センターなど)</b>					
	日本小児科学会学術集会などへの参加、外来研修1回/週程度、救急当直3~4回/月程度。 目標経験症例100例以上(超未熟児もしくは極小未熟児を含む未熟児新生児疾患、小児慢性疾患を含む)。											
3年目	<b>専門研修基幹施設(三重大学医学部附属病院)</b>						<b>選択研修(将来のサブスペシャリティを考慮して選択)</b>					
	日本小児科学会学術集会などへの参加、外来研修1回/週程度、該当科での当直3~4回/月程度。 目標経験症例50例以上(小児がんおよび小児循環器疾患、高度医療を必要とする症例等を含む)。											

## 到達目標

小児科専門医として確実な知識・技能を有し、自ら診断、治療、臨床判断、説明、他医療機関への紹介などができる。(具体的な基準は日本小児科学会「小児科医の到達目標(改訂第4版)」および小児科専門医臨床研修手帳を参照)  
 小児科診療に必要な診療技能(診察・手技・処置・検査等)に習熟し、臨床応用ができる。(具体的な基準は「小児科医の到達目標(改訂第4版)」を参照)  
 小児科学会の示す「小児科専門医の医師像・到達目標」を理解し、生涯を通じた小児科医の到達目標を実践するための基本を習得する。

## プログラムの特徴

3年間の研修により、日本小児科学会の小児科専門医試験受験資格を得ることができます。県下の研修連携施設の他、県内外の研修協力施設での研修を組み合わせることができます。小児科専門医受験に支障ない範囲で一般臨床、専門医療、地域医療を組み合わせることができます。サブスペシャリティの取得を含めた長期のプログラム編成にも対応しています。

ローテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修基幹施設、専門研修連携施設それぞれで最低6ヶ月以上研修を行う。</li> <li>・ローテーション順序や各々の研修期間は、三重大学小児科研修医(専攻医)プログラム統括責任者と、研修プログラム委員会にて決定する。本人の希望を考慮しつつ、専攻医数や研修関連施設の状況、経験症例の内容を踏まえて決定する。</li> <li>・当該科責任者と相談し、大学院への進学も考慮する。大学院での研究を行いながら、小児科専門医サブスペシャリティ専門医取得に必要な臨床修練を並行して行うこととする。</li> </ul>
学術活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に2回以上の学術集会への参加、年間1回以上の筆頭者としての学会発表を目標とする。</li> <li>・3年間で最低1編以上の筆頭者としての学術論文(査読制度を有するもの)への発表を必須とする。(小児科専門医取得の必須条件です)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に関行される症例検討会やカンファレンス、抄読会、CPCなどへ参加する。</li> <li>・医療安全講習会、感染対策講習会、医療倫理講習会を受講する。</li> </ul>



小児科専門研修プログラム統括責任者：平山 雅浩  
 (三重大学医学部附属病院小児科教授)  
 【研修医へのメッセージ】

小児科はこどもを診る総合診療科であり、新生児から成人になるまでの幅広い年齢層が対象です。感染症、神経疾患、血液・悪性疾患、循環器疾患、内分泌代謝疾患、その他慢性疾患など多くの分野を研修する必要があります。また救急医療、地域医療、小児保健、医療倫理、臨床研究も合わせて経験が必要となります。当プログラムはそれらを効率的で幅広くかつ充実した研修を行うために3-4年間で達成出来るシステムとなっています。未来を担うこどもたちのために是非参加して頂ければと願っています。

募集要項は裏面をご覧ください。

**専門医研修連携施設**

桑名市総合医療センター  
 三重県立総合医療センター  
 市立四日市病院  
 鈴鹿中央総合病院  
 国立病院機構三重病院  
 三重中央医療センター  
 岡波総合病院  
 松阪中央総合病院  
 伊勢赤十字病院  
 尾鷲総合病院

紀南病院  
 名張市立病院

**その他関連施設**

四日市羽津医療センター  
 済生会松阪総合病院  
 済生会明和病院  
 三重県立志摩病院  
 県立子ども心身発達医療センター

専攻医採用について	説明会の開催	2018年7月21日（土）13時～16時 三重大学医学部附属病院にて ※日程は小児科ホームページで確認頂くか、研修担当者へお問い合わせ下さい。
	募集方法	プログラムへの応募者は、11月15日（一次募集）までに研修プログラム責任者宛に所定の形式の『三重大学小児科研修医（専攻医）プログラム応募申請書』および履歴書を提出してください。申請書は、下記の方法で入手してください。 (1) 三重大学病院のwebsite ( <a href="https://www.doctor-mie.jp/mie_program.html">https://www.doctor-mie.jp/mie_program.html</a> )よりダウンロード (2) 電話で問い合わせ(059-231-5024) (3) e-mailで問い合わせ (syouni@clin.medic.mie-u.ac.jp)
	選考方法 採否結果	書類選考および面接（10月ごろ） 採否を決定して本人に文書で通知します。応募者および選考結果については12月の三重大学小児科専門研修プログラム委員会において報告します。
研修開始届け	研修を開始する専攻医は小児科学会へ入会して下さい。学会への研修開始届は不要ですが、研修手帳の交付を受ける必要があります。下記とともに研修プログラム責任者へ申告して下さい。 ・専攻医の氏名と医籍登録番号、日本小児科学会会員番号、専攻医の卒業年度 ・専攻医の履歴書 ・専攻医の医師免許証と初期研修修了証のコピー	

小児科専門研修プログラムの詳細は三重大学病院ホームページ  
[https://www.doctor-mie.jp/mie\\_program.html](https://www.doctor-mie.jp/mie_program.html)  
 をご覧ください。

お問合せ先

三重大学医学部小児科

Homepage:  
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/pediatrics/>  
 TEL:059-231-5024  
 e-mail:  
[syouni@clin.medic.mie-u.ac.jp](mailto:syouni@clin.medic.mie-u.ac.jp)

